

# Salon

Vol.137 2022年3月 春号



ホール4F壁画 ポール・ゴッアマン作「花とオルレアン」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 迫昭嘉  
03 Phoenix Presents — Trio MEZZO リサイタル  
～メゾソプラノ、ヴィオラ、ピアノによる魅惑の作品～  
ザ・フェニックスホールに集う  
05 Pick Up トップ・アンサンブル・シリーズ2022-2023  
07 Essay de say — 〈アメイジング・グレイス〉が歌われるとき 柿沼敏江

# 魔法の世界へいざなう ピアニスト 迫昭嘉さん



©武藤章

迫昭嘉さんと聞くと、多くの人が年末に行われる「迫昭嘉の第9」や、長年演奏し続けているベートーヴェンのピアノソナタを思い浮かべるのではないのでしょうか。そんな迫さんが、今回あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールのピアノリサイタルに組んだプログラムは、レスピーギとドビュッシーとショパンという3人の作曲家による作品。この意表を突くような選曲について、迫さんからさまざまなお話を伺うことができました。リサイタルに駆ける思い、現在の心境、プログラムの作曲家や作品にまつわるお話から今後の音楽家としての抱負まで、忌憚のない意見をごく自然体、やわらかな物腰、率直な気持ちで話してくださいました。そのことばの端々に見え隠れする、迫さんのそれぞれの作品に対する深い思いと愛着、「いまだからこそ、これを弾きたい!」という熱い思いを紹介します。そのことばから浮かび上がる、作品への愛情を受け取っていただければと思います。

(取材・文:伊熊よし子/音楽ジャーナリスト)

**迫昭嘉**(さか・あきよし/ピアノ) 東京藝術大学大学院にてクロイツァー賞を受賞、ジュネーブ国際音楽コンクール最高位、東京国際音楽コンクール室内楽部門優勝(1980)、ハエン国際ピアノコンクール優勝およびスペイン音楽賞(1983)、ABC国際音楽賞受賞(1998)。気品ある音色と透明度の高いリリシズムを持つピアニストとして、ソロ、オーケストラとの共演のほか、室内楽奏者としても内外の一線で活躍する演奏家達と数多く共演し、高い評価と信頼を得る。2001年の「ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全曲チクルス」(全8回)は、ライブレコーディングで、『迫昭嘉・ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全集』としてリリース。全ディスクが『レコード芸術』誌で特選盤・推薦盤に輝いた。2015年12月より白寿ホールにて2台ピアノによるベートーヴェン(リスト編曲)の第九他による「迫昭嘉の第九」公演をスタート。また近年は指揮者としての活動も注目を集めている。現在、東京藝術大学教授、東京音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授として後進の指導にも当たっている。

## 迫昭嘉 ピアノリサイタル

2022年5月13日(金) 14:00開演 指定席 \*お菓子つき  
一般4,000円 友の会会員3,600円 学生(25歳以下)1,000円(限定数)

■出演 迫昭嘉(ピアノ)

■曲目 レスピーギ:リュートのための古い舞曲とアリア 全6曲  
ドビュッシー:映像 第1集  
ショパン:舟歌 op.60  
ショパン:ピアノソナタ 第3番 口短調 op.58 (予定)

■チケットのお求め・お問い合わせ  
ザ・フェニックスホールチケットセンター  
06-6363-7999(平日10:00~17:00 土日祝休)

# ピアノの原点に戻るという意味で 選曲した3人の作曲家の作品です。

まず、今回のプログラムはベートーヴェンがまったく入っていませんね。迫さんというベートーヴェンという図式が出来上がっている人にとってはとても驚きで、また新たな面を見せていただけるのかなと期待が募ります。

本当に長い間ベートーヴェンを弾いてきました。音楽大学で教える立場としても、ベートーヴェンを弾くというのは、ひとつの基本的な路線といえるのかもしれませんが、あと2年ほどで東京藝術大学の教鞭にかかわる仕事も終わる予定で、最近ではコロナ禍でじっくり自分と向き合う時間もあり、これからのことを考えるようになったのです。

というのは、ベートーヴェンをずっと演奏していると、どうしても演奏が堅くなってしまふ。これは悪い意味ではありませんよ。もちろん私個人の考えですが、ベートーヴェンは確固たる構築性に富み、ドイツ音楽の伝統に根差し、テクニク的にも大いなるエネルギーを要します。そうした作品とずっと対峙してきましたが、最近ではより自由に弾ける作品に目を向けたいと考えるようになったのです。

**特に今回のプログラムに関して、どのような考えでこの3人の作曲家に絞られたのですか。**

今回のリサイタルのプログラムは、ピアノの原点に戻りたいと思って考えた選曲です。ここしばらくはベートーヴェンがレパートリーの柱として存在し、そこに全面的に集中力を注いでいたため、他の作品に目を向けることが少なくなっていました。私は90年代までは、スペイン作品など多量に演奏していましたが、やはりピアニストとしての自分を考えた場合、ショパンをきちんと弾けなくてはと思ったわけです。ピアノの作曲家ですからね。

ショパンのピアノソナタ第2番はずいぶん弾いていますが、ソナタ第3番はあまり弾いていないため、今回はそれをメインに据えようと考えました。この作品は6~7年前から弾き始めましたが、今回は新たな視点が見えると思います。実は、ショパンは誕生日が近いんですよ。それゆえ、親近感を感じますね(笑)。ショパンを弾く場合は、自分の音楽表現としてピアノを使うのではなく、ピアノを弾くことを楽しむ。そういう気持ちで演奏できます。

**それでは、ショパンのピアノソナタ第3番をメインにすると考え、それから他の作品が一気に決まってきたのですか。**

最初の曲、オープニングには古典作品をもって来たかったです。J.S.バッハ、スカルラッチェ、モーツァルトなども考えましたが、やはり私がイタリア留学中に出会ったレスピーギで始めようと思いました。

レスピーギのピアノ作品は演奏される機会に

恵まれていませんし、以前この作品を録音したときは、世界中を見回してもほとんど演奏するピアニストはいなかったのではないのでしょうか。私がドイツ留学(ミュンヘン)からイタリア(ミラノ)へ移った80~90年代は、まだ1920年ころのイタリアの空気が色濃く感じられる時代でした。知り合いの音楽の先生に「子どものころにレスピーギの指揮でうたった」といわれたり、レスピーギが生きていた時代を覚えている貴族の末裔がいたり、本当にリアルな体験ができました。

今回のレスピーギの「リュートのための古い舞曲とアリア」は新古典主義のスタイルで書かれ、そうした時代を超えたノスタルジックな様相を呈しています。イタリア人のピアニストに教えてもらった作品で、弦楽合奏版は知っていたのですが、ピアノで弾くことができると知り、とても心が高揚したことを覚えています。原曲は1500年代のもので、シンプルで人の心に素直に入ってくる。原始人が火の周りで踊っているような、そんなプリミティブな曲想を持ち合わせています。

私はこうした作品を弾くと、作品が生まれた時代から今日まで、音楽は連綿とつながっていると感ずるのです。レスピーギにとっては、多分に実験的な意味合いをもっていたのではないのでしょうか。レスピーギといえば、「ローマ三部作」や室内楽が有名ですが、こうした作品が存在することに新たな喜びを抱き、何も難しいことは考えず、心を無にして、音楽のすばらしさを胸に刻んでいただければ幸いです。

**プログラムはドビュッシーへと続けられますが、数あるドビュッシーのピアノ作品の中から「映像」第1集を選ばれたのは、特別な理由がありますか。**

私はイタリアに拠点を移したころから、フランスが近くなってきたなと感じました。それ以前はフランス作品をあまり演奏してなくて、フランス語も話せませんでしたし、距離を感じていたのです。でも、歳とともにフランス作品が実は自分の感覚に非常に近いのではないかと思いはじめました。ドビュッシーは点描画のような趣があり、その色彩のグラデーションがとても楽しいと感じるようになり、作品にも魅了されるようになりました。

「映像」「版画」「前奏曲」などがレパートリーに入ってきて、ピアノでどんな色合いが出せるか、その探求が興味深くなったわけです。ザ・フェニックスホールは以前ステージで演奏したことがあり、すばらしい響きも覚えていますので、ドビュッシーの美しい響きを存分に発揮できると思います。

**後半はショパンが2作品登場しますが、ピアノソナタ第3番の前には絶対に「舟歌」を置きたいと思われたのですか。**

「舟歌」は晩年の作で、とても内容が濃く、演奏は難しいと思います。いま、多くの学生たちを教え

ていますが、みんなどんなに難しい曲でも楽々と弾いてしまう。私はそうはいかない(笑)。でも、私はけっして型にはまった演奏ではなく、音楽を心から感じる演奏を目指しています。中途半端な知識や訓練を積み重ねるのではなく、音楽の本当の意味を見出し、それを伝える。そんな演奏を目指しています。

私は、ドイツ留学中はバイエルン国立歌劇場でサヴァリッシュ指揮によるオペラに数多く触れました。クライバーもね。当時はそれこそ最高の歌手がそろっていたのです。歴史的な歌手の名演にも出会うことができました。ミラノでもアバドが全盛期で、プレートルや他のすばらしい指揮者のオペラに連日に通いました。実は、高校生のころから指揮者になりたいと思っていたのです。当時は指揮も学び、学校のオーケストラやアマチュアオーケストラを振る機会に恵まれ、オペラ指揮者になりたいと夢見ていました。いまは、いろんなジャンルの指揮もさせていただけていますが、本当に指揮は大変ですが、楽しいですね。

10月になりますが、東京藝術大学に所属するプロフェッショナルオーケストラ、藝大フィルを指揮して、モーツァルトのピアノ協奏曲とブルックナーの交響曲第4番を演奏する予定です。この2曲の組み合わせは、昔から夢でしたので…。モーツァルトは弾き振りで、第17番か第25番のどちらかにしようと思っています。

**今後はピアニスト、指揮者として、さらに室内楽奏者としても活躍される予定ですが、レパートリーとしてはどのような作品が増えそうですか。**

先ほどの繰り返しになりますが、ピアノ弾きとしてピアノの原点に戻る作品と対峙していきたいと考えています。ショパンとカリストとか。そうした作品のなかで「自由さ」を見出し、自分にたりなかつた面をも考慮し、新たな発見につなげられたらと考えています。

そして何より、ピアノを弾くことを楽しみたいですね。その楽しみが演奏を通じて聴いてくださるみなさまに伝わればと願っています。ピアノは作品数が多いので、練習量も半端ではないですが、ヨーロッパで体験したさまざまなことが演奏に生かされればいいと思っています。カヴァリエやパヴァロッティの歌はいまでも忘れられません。あんな有意義な体験をしたことは、生涯の宝です。若きポリーニやアバドの演奏も、イタリア人の歌心が息づき、最高でした。あの時代、オペラは一種の魔法のような感覚で、舞台で行われていることにだまされ、魔法にかかり、最後はハッピーという空気に包まれる。しばし異次元の世界へと運ばれていくわけです。まさにこれこそが音楽の醍醐味です。私もそういう演奏がしたいですね。

**今回のリサイタルでは、その魔法の世界へ飛翔する瞬間が訪れそうですね。楽しみにしています。**



ザ・フェニックスホール  
友の会優先予約

3月18日(金)  
10:00 受付開始

イー・フェニックス  
E-PHX優先予約

3月22日(火)  
10:00 受付開始

一般発売  
3月23日(水)  
10:00

インターネット予約による  
お申込みは3月24日(木)10:00から!

■フェニックス・エヴォリューション・シリーズ101

主催 Trio MEZZOリサイタル実行委員会

2022年  
8月2日(火)

19:00開演 自由席  
一般¥4,000(友の会会員¥3,600)  
学生(25歳以下)¥2,000

メゾソプラノ×ヴィオラ×ピアノ=???  
中音域達の室内楽の魅力をご存知ですか?

Trio MEZZO リサイタル

～メゾソプラノ、ヴィオラ、ピアノによる魅惑の作品～

出演 川合ひとみ(メゾソプラノ)、村田恵子(ヴィオラ)、辻田祐希(ピアノ)

曲目 ブリッジ:中声、ヴィオラ、ピアノのための3つの歌曲  
ダウランド:もし私の嘆きが  
ブリテン:ラクリメ -ダウランドの歌曲の投影 op. 48  
ベルク:7つの初期の歌  
レフラー:若い娘の歌、4つの詩 op.5  
ブラームス:アルト、ヴィオラ、ピアノのための2つの歌 op. 91

メゾソプラノ、ヴィオラ、ピアノという組み合わせを聞いてどんな曲を思い浮かべますか?まず思い浮かぶのはブラームスの『2つの歌 op.91』ですが、他にも皆さんに聞いて欲しい、知って欲しい作品が沢山あります。この編成の面白さとともにメゾソプラノとヴィオラそれぞれのソロ曲を交えつつ魅力を伝えるプログラムをご用意しました。イギリスの作曲家ダウランド、ブリッジとブリテン、オーストリアの作曲家ベルク、そしてドイツに生まれアメリカで活躍した作曲家チャールズ・マーティン・レフラー。20世紀の色彩豊かな作品を中心に、オペラともオーケストラとも違う室内楽の奥深い世界に触れてみてください。



## ホール主催・共催・協賛公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00～17:00

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
  - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
  - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イー・フェニックス)優先予約
  - ・E-PHX(イー・フェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
  - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
  - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
  - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

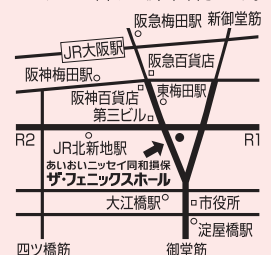
<https://phoenixhall.jp/>

チケットセンターのページからお申込みください

- インターネット予約(主催公演のみ)
  - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
  - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますがお電話でお問合せください。
  - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
  - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
  - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

直接のご来店による  
お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



### チケットお申込み後のお受け渡し方法

電話予約後に郵便振込をさせていただき、入金確認後にチケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいでから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

ザ・フェニックスホールに集うトップ・アンサンブル・シリーズ2022-2023 発売延期のご案内

共同主催 公益財団法人 日本室内楽振興財団、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール

2022年5月25日(水)に開催を予定しておりました「ヘンシェル・クアルテット」は、新型コロナウイルス感染症の影響による海外演奏家の入国の見通しが立たないことから、やむを得ず公演を中止とさせていただきます。公演を楽しみにしていらしたお客様には、大変残念なお知らせで申し訳ございませんが、事情をご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

これに伴い、3月に発売を予定しておりました同シリーズの他3公演(アタッカ・クアルテット、アンサンブル・ミクスト、ドーリック・クアルテット)のチケット発売を延期させていただきます。新しい発売日は改めてホームページ、及びホール情報誌「Salon」でお知らせいたします。何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

5/25 水 19:00 指定席  
一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

受け継がれるヨーロッパの伝統  
**ヘンシェル・クアルテット**

■出演  
クリストフ・ヘンシェル、テレサ・ラ・クール(ヴァイオリン)  
モニカ・ヘンシェル(ヴィオラ) マティアス・パイヤー・カルツホイ(チェロ)

■曲目  
モーツァルト:  
弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.13  
ドヴォルザーク:  
弦楽四重奏曲 第12番 へ長調 op.96  
シューベルト:  
弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810  
「死と乙女」

**公演中止**

©Felix Krammer

9/12 月 19:00 指定席  
一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

グラミー賞が輝めく新時代の旗手  
**アタッカ・クアルテット**

■出演  
エイミー・シュローダー、ドメニク・サレーニ(以上ヴァイオリン)  
ネイサン・シュラム(ヴィオラ) アンドリュー・イー(チェロ)

■曲目  
ベートーヴェン:  
弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調 op.74  
ポール・ウィアンコ:  
Benkei's Standing Death  
(「弁慶の立ち往生」)  
キャロライン・ショー:Entr'acte  
ラヴェル:弦楽四重奏曲 へ長調  
(予定)

©David Goddard

12/11 日 15:00 指定席  
一般4,500円(友の会会員4,050円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

日本の俊英たちが重ねあう甘美な響き  
**アンサンブル・ミクスト**

■出演  
梶川真歩(フルート)  
本多啓佑(オーボエ)  
尾上昌弘(クラリネット)  
嵯峨郁恵(ホルン)  
中田小弥香(ファゴット)

■曲目  
ミヨー:木管五重奏のための2つのスケッチ  
ライヒャ:木管五重奏曲 二長調 op.91-3  
モーツァルト:セレナード 第12番 八短調 k.388  
(ほか(予定))

©George Gamier

2023 2/26 日 15:00 指定席  
一般5,000円(友の会会員4,500円) 学生(25歳以下/限定数)1,500円

深い歴史解釈に裏付けられたクリアサウンド  
**ドーリック・クアルテット**

■出演  
アレックス・レディントン、イン・シュー(以上ヴァイオリン)  
エレネ・クレマン(ヴィオラ) ジョン・マイヤースコウ(チェロ)

■曲目  
ベートーヴェン:  
弦楽四重奏曲 第11番 へ短調  
「セリオーソ」 op.95  
ハイドン:  
弦楽四重奏曲 二長調 op.50-6  
ベートーヴェン:  
弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 op.127  
(予定)

©George Gamier

あいおいニッセイ同和損保  
MS&A INSURANCE GROUP

地域の皆さまとともに。

弊社は、地域密着を行動指針の一つとする企業経営を行っており、弊社およびグループ企業にて培ったノウハウを活かし、地方創生における「まち・ひと・しごと」の各分野において地域社会、地域企業のお役に立ちに向けた支援を行っております。

全力サポート

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1 <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>

## 大阪・梅田 フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 2023年度公演企画募集/ホール無料提供



### あなたの公演プランを舞台上で実現してみませんか？

当ホールが公演企画を公募し、審査で選ばれた企画者にホールや付帯設備(基本費)を無料で提供します。併せてホールスタッフが公演開催のお手伝いもする公演共催事業です。企画者には主催者として主体的に公演開催のためのマネジメントに取り組んでいただき、ホールは共催者の立場でサポートいたします。文化芸術の創造的な発展に寄与するユニークな企画、意欲的な企画のご応募をお待ちしています。

- **ホール提供日** **2023年5月30日(火)、8月1日(火)、11月7日(火)/2024年2月6日(火)**
- **応募資格・条件**
  - ・ 公演ジャンル不問。
  - ・ 音楽大学卒業または同程度の実力を有する者。(学生可、海外居住者可、ただし打ち合わせや広報活動のため来阪できる者)
  - ・ 1日1公演の開催、上演時間は休憩時間を含めて2時間程度。
  - ・ 公演日の前後3か月の期間内に近畿圏内で同じ内容の公演を実施しない。
- **審査基準** 以下の要件のすべて、またはいずれかを満たしているかどうかを審査します。
  - ・ 高い音楽性を備えている ・ 企画内容が明確で、かつユニークである ・ この公演を機会に発展が期待される
- **応募方法**
  - ①**応募用紙** ②**音資料(CD)必須** ③**映像資料(映像・画像を使用する公演のみ提出してください)**
  - ④**その他資料(添付自由・必須ではありません)** 上記を揃えて、郵送または宅配便でのみ受付いたします。
- **締め切り** **2022年6月10日(金)必着**
- **募集要項請求・応募先** 〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10-8F  
 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」係  
 TEL 06-6363-0211 E-mail concert@phoenixhall.jp ホームページ <https://phoenixhall.jp/>

\*詳細は、募集要項、ホームページでご確認ください。募集要項、応募用紙は、ホームページよりダウンロードいただけます。

## Osaka Guitar Summer 2022 関連事業



### 公開マスタークラス 受講生募集

大阪から世界のギタリストへ。将来音楽家を志す若い世代を対象に、公開マスタークラスを実施いたします。舞台上でプロのレッスンを受けられる貴重な機会です。奮ってご参加ください。

- **開催日程** **2022年8月27日(土)** 13:00開始 公開マスタークラス 17:00開演 修了コンサート
- **会場** あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
- **講師** 福田進一、大萩康司
- **募集人数** ソロ部門、デュオ部門(最大3組)
- **レッスン方式** 公開レッスン/1組につき60分レッスンを1回 \*講師の選択はできません。
- **受講料** 受講料として以下の購入をお願いいたします。(計6,500円)  
Osaka Guitar Summer 2022【8/27(土)、8/28(日)開催】2日間セット券…1セット



### ギターアンサンブル ワークショップ 受講生募集

今年はピアニスト・作曲家として多岐にわたり活躍中の足立知謙さんの新曲に取り組んでいただけます。ギター愛好家の皆様のご応募をお待ちしております。

- **開催日程** **2022年5月21日(土)、6月1日(水)、6月18日(土)、7月12日(火)、7月25日(月)、8月4日(木)、8月14日(日)、8月26日(金)、8月27日(土)** 全9回
- **会場** あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール、リハーサル室、ホールロビー、会議室ほか
- **講師** 岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美
- **募集人数** 20名程度
- **課題曲** 足立知謙: Virgin Forest I-原初の泉、II-緑陰の奥深くより(新曲・世界初演)  
(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2022年委嘱作品)
- **受講料** 大阪ギターサマー2日間セット券1セット、公開マスタークラス聴講&修了コンサート2枚(合計7,500円)のご購入をお願いいたします。交通費や宿泊費は自己負担とします。



【参考】  
昨年の  
アンサンブル  
ワークショップの  
演奏です



\*詳細は、募集要項、ホームページでご確認ください。募集要項、応募用紙は、ホームページよりダウンロードいただけます。

\*演奏会、マスタークラス聴講券の販売は、5月中旬を予定しております。

■ **締め切り 2022年4月4日(月)必着**

### ■お問い合わせ・募集要項の請求

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10-8F あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール「大阪ギターサマー」事務局  
TEL 06-6363-0211 E-mail concert@phoenixhall.jp ホームページ [https://phoenixhall.jp](https://phoenixhall.jp/)

あいおいニッセイ同和損保が・フェニックスホール協賛・協力公演のご案内

が・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

**協賛公演** 辻本玲 チェロ・リサイタル

主催 フィリー企画

発売中

2022年4月28日(木) 19:00開演 指定席 一般前売¥3,500(友の会会員¥3,150)  
一般当日¥4,000(友の会会員¥3,600) 学生前売¥1,500 学生当日¥2,000 ※友の会割引は一人様3枚まで。

出演 辻本玲(チェロ)、入江一雄(ピアノ)

曲目 J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010  
ブラームス:チェロソナタ 第1番 ホ短調 op.38  
ガーシュウィン:三つのプレリュード  
クラム:無伴奏チェロソナタ  
バーバー:チェロソナタ op.6

今年も辻本玲チェロリサイタルを開催いたします!前半は王道のバッハ無伴奏組曲第4番、ブラームスのチェロソナタ第1番、後半はオール・アメリカ・プログラムです!ガーシュウィンのオシャレなプレリュード、クラムの無伴奏ソナタではチェロの技巧を余すところなく発揮。そしてバーバーのチェロソナタは辻本がずっと弾いてみたかったがなかなか叶わなかった、チェロの音域、音色の魅力を思う存分表現できる名曲です。ぜひお越しください。お待ちしております。



©KING RECORDS

**協賛公演** 前田裕佳ピアノリサイタル スペクトル スペクタクル  
—フランスの伝統と革新、そして現在— ※2021年5月9日の振替公演

主催 YUKA MAEDA RECITAL DE PIANO

発売中

2022年5月29日(日) 14:00開演 指定席 一般前売・当日¥3,000(友の会会員¥2,700) 学生前売・当日¥1,000

出演 前田裕佳(ピアノ)

曲目 クーラン:クラヴサン組曲 第1オールドより  
「サラバンド荘重」(1713)  
ドビュッシー:12の練習曲より「対比的な響きのための」  
(1915)、映像第1集より「水の反映」(1905)  
ルルー:REPÉTER...OPPOSER (2018)  
ラモー:クラヴサン曲集 第1集 組曲イ短調より  
「プレリュード」(1706)  
ミュライユ:Cailloux dans l'eau (2018) ほか

フランスを中心とした1970年代から現在に至るまでの、倍音列を解析し合成することによって創作される「スペクトル楽派」と分類される作品群は、突如として現れたものではない。既に20世紀初頭のドビュッシーの作品に、スペクトル楽派の萌芽の書法とされる倍音列を使用した音組織が含まれていた。さらに18世紀初頭にJ.-Ph.ラモーは、自然倍音列を基とした音響が和声理論の根拠であるということを通じて導き出していた。本公演はフランスの伝統、革新そして現在をテーマにスペクトル音響という観点からフランス音楽の普遍性に迫る。



**協賛公演** ヴィオラスペース2022大阪  
第5回東京国際ヴィオラコンクール入賞記念ガラ・コンサート

主催 東京国際ヴィオラコンクール実行委員会

3/18(金)発売

2022年6月6日(月) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,000(友の会会員¥4,500)  
U25前売・当日¥2,500(1997年以降生まれの方限定。公演当日に生年を証明できるものを持参ください)

出演 今井信子、小峰航一(以上ヴィオラ)、  
小栗まち絵(ヴァイオリン)、有吉亮治(ピアノ)  
第5回東京国際ヴィオラコンクール第1位、  
第2位、第3位入賞者(ヴィオラ)

曲目 未定

今年のヴィオラスペースは3年に1度の東京国際ヴィオラコンクールの開催年にあたります。世界から若きヴィオラの先鋭たちが集合。第1次、第2次、セミ・ファイナル、ファイナルを経て、栄光を掴んだ入賞者3名と日本を代表するシニア・メンバーによる華やかなガラをどうぞお楽しみください。



©Pete Checchia

**協賛公演** プラジャーク・クワルテット  
ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 後期作品全曲ツィクルス(全3回)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2022年6月8日(水)・9日(木)・10日(金) 19:00開演 指定席 ※2021年10月25日~27日の振替公演  
前売・当日各¥6,000(友の会会員¥5,400) 全曲券[3公演]前売¥16,500(友の会会員¥15,500)  
※全曲券は前売のみ・限定数 ※友の会割引は前売のみ

出演 ヤナ・ヴォナシュコーヴァ、ヴラストミル・ホレク(以上ヴァイオリン)、ヨセフ・クルソニュ(ヴィオラ)、ミハル・カニユカ(チェロ)

曲目 6/8 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 op.135、弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 op.132  
6/9 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 op.127、弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131  
6/10 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 へ長調 Hess34、弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 op.130/「大フーガ」op.133

チェコを代表する名門プラジャーク・クワルテット現メンバーによる最後の日本公演。  
ベートーヴェン生誕250周年記念 ベートーヴェン弦楽四重奏曲 後期作品全曲ツィクルスを三夜連続で一挙演奏いたします。どうぞお楽しみください。



**協賛公演** “KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka” The 25 th Anniversary Series by Kojima Concert Management  
～関西圏の最大拠点 梅田で展開する芸術音楽～

主催 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

相愛ソロイスト 2022 “感興沸き立つ弦楽六重奏の世界”

2022年6月20日(月) 19:00開演 指定席 前売・当日¥6,000(友の会会員¥5,400)

出演 田辺良子、大谷玲子(以上ヴァイオリン)、竹内晴夫、小峰航一(以上ヴィオラ)、上森祥平、斎藤建寛(以上チェロ)

曲目 ブラームス:弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 op.18 ドヴォルザーク:弦楽六重奏曲 イ長調 op.48 B.80  
チャイコフスキー:弦楽六重奏曲『フィレンツェの思い出』ニ短調 op.70

相愛大学が誇る名プレイヤーによる六本の弦楽器の重厚な響きが織りなす世界観をどうぞお楽しみください。



## 〈アメイジング・グレイス〉が歌われるとき — 柿沼敏江



Keizo Matsui

2021年9月11日、アメリカ合衆国は同時多発テロ事件20周年を迎えた。これまでの追悼式典で毎回何らかの形で演奏されてきたのが、賛美歌〈アメイジング・グレイス〉である。パンデミック下の昨年は、男声独唱でこの歌が流された。イギリスの奴隷船の船長でのちに聖職者となったジョン・ニュートンが1772年、懺悔の念を込めて書いたこの賛美歌の言葉は、やがてアメリカに伝えられ、新たなメロディをつけて白人、黒人を問わずに歌われるようになった。

ハリエット・ビーチャー・ストウ作『アンクル・トムの小屋』では、奴隷のトムが辛苦に耐えながら、絶望から立ちあがろうとする場面で、この賛美歌を歌う。アメリカに奴隷として連れてこられた先祖の物語を綴った『ルーツ』の作者アレックス・ヘイリーの葬儀でも、この歌が演奏されたという。9.11以降、痛ましい事件の後で、追悼の意味でこの歌が歌われる場面が増えたように感じられる。2015年サウス・カロライナ州チャールストンの教会で9人の黒人が白人至上主義者の男によって射殺された事件の追悼式では、オバマ大統領が、「アメイジング・グレイス…アメイジング・グレイス…」と2度唱えてから、この歌を歌い始めた。周りにいた牧師たちも、次々と立ち上がって唱和の輪に加わっていく。これ以上言う言葉がないと感じた大統領のこの突然の振る舞いは、多くの人々に深い感動を与えることになった。

そもそもなぜこの歌は、追悼式典や葬儀の際に演奏されるようになったのだろうか。1954年、ゴスペル音楽家のメイシオ・ウッズがハモンド・オルガンでこの曲を演奏し、その録音が器楽によるゴスペルのレコードとしてかつてないほど売れた。するとレコード会社の営業マンが、当時シカゴで開催された葬儀屋の大会を訪れて、悲しみの時に理想的な雰囲気醸し出す音楽として売り込んだ。それ以来、葬儀や慰霊に相応しい音楽として選ばれるようになったと言われている。

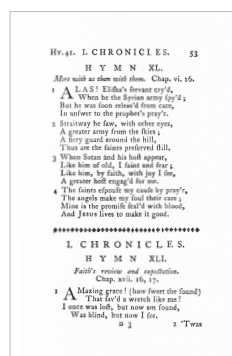
柿沼敏江(かきぬま・としえ) / 京都市立芸術大学名誉教授

カリフォルニア大学サンディエゴ校博士課程修了、PhD。専門はアメリカ実験音楽、20-21世紀音楽。著書に『アメリカ実験音楽は民族音楽だった』(フィルムアート、2005年)、『〈無調〉の誕生』(音楽之友社、2020年、第30回吉田秀和賞受賞)。訳書にジョン・ケージ『サイレンス』(水声社、1996年)、アレックス・ロス『20世紀を語る音楽』(みすず書房、2010年、ミュージック・ペン・クラブ賞受賞)などがある。



一方、日本の状況を振り返ってみると、この歌が歌われるのは意外にも結婚式という華やかな舞台である。音楽大学の声楽専攻の学生たちは、アルバイトとして結婚式でこの歌を歌っているという。アメリカでは葬式や追悼式で歌われる歌が、なぜ日本では結婚式で歌われるのだろうか。

2008年、学会に参加するためにロンドンを訪れた際に、賛美歌の作者ジョン・ニュートンの教会まで足を運んだことがある。ロンドン近郊のバッキンガムシャー州オルニーという小さな町にその教会はあった。牧師の宿舎が残っていて、その二階の一室でニュートンはこの賛美歌を書いたのだと、案内の女性に教えられた。この歌を収めた『オルニー賛美歌集』を購入して、「この歌、日本では結婚式で歌うんですよ」と言うと、「あら、イギリスでも結婚式で歌われていますよ」という返事が返ってきた。ということは、イギリスの習慣が日本にとり入れられたということなのだろうか。奴隷制度廃止のために尽力したイギリスの政治家ウィリアム・ウィルバーフォースを描いた映画『アメイジング・グレイス』でも、ウィルバーフォース自身の結婚式でこの



の賛美歌が歌われる。結婚式でも追悼式でも愛唱され、人々に感銘を与えることのできる歌が他にあるだろうか。

今年もまたコロナ禍により、人々が集い、ともに歌うこともままならない状況が続いている。人々がこぞって〈アメイジング・グレイス〉を歌うことのできる日が戻ることを願うばかりである。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2022年3月  
発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
編集 上田英司  
デザイン 松井桂三有限公司

